

(6) 2016年(平成28年) 7月7日(木曜日)

キリスト教が教える大きな柱の一つは、「赦(ゆる)し」ということだと思います。

この世というのは、頭にくる事もありますよね？ こんな不完全で悪のはびこる世の中ですから、赦せない相手、納得できないことも多いでしょう。でも、聖書はそんな相手を「赦せ」というんですね。

なぜそんな事ができるか？ それはボクらが神からもらったと大きく赦されたから、です。

聖書にこんな話があります。

例えばボクがある人から10億円くらい借りたとしてしましう。しかし借りたのはいいが、返せなくなつた。そこでその人に泣きついて、

「すみません！ 返せなくなりまして！ どうかこの通りです赦してください！」

って泣いて頼んだら、その人があまりにも寛大で、「分かります、帳消しにしましょう」

「頼んだから10億円の借金を赦してあげたのに、お前は人に貸した10000円も赦せんのかい！」と。

この話のように、神様からボクらは大いに赦されたんです。だから他人も赦しましょう

南加キリスト教教会連合

神の「赦し」

滝井ジュン

って言うてくれた。

でも、今度はボクが1000

0円くらい貸した相手をボクが赦さなかったら、10億円を帳消ししてくれた人はどう思うでしょうか？

「この野郎！ お前が泣い

う、ということなんですな。

人を赦さないというのは、

他人のために毒を盛ろうとして、その毒を自分で飲んでいようなモノですから、自分が一番損です。

「人を赦すことは問題ない

けど、自分を赦せない」っていう人もいるのではないのでしょうか？

過去にしてしまった過ちや、もうどんなに「ごめんなさい！」って言ったつてその相手がすでに亡くなってしまつていて、とか。私なんて日々失敗ばかりで、自分で自分が情けなくなる事が多いです。

聖書の中で、イエスはどんな罪深い人たちに対しても、寛大に接して彼らの罪を赦した。自分の中にある欠けとか、足りなさを自認している者たちと接するのは全く問題がなかった。

しかし、自分は正しい、人よりもマシだ、などと思つていた宗教家たちには、非常に否定的な態度を取られた。

聖書はこう言っています、

「もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます」

何も人に言う必要もない。ただ神にボクらの足りないところ、失敗、情けない言動を言い表す。そうすると、神はそれらを赦してください、と。そうすると、新しいスタートが切れます。

だから、ボクが昨日の失敗を神の前に置いて、今日からまつさらの新しいスタートが切れるんです。

どうか、過去の過ち、失敗に押し潰されそうな感じの方は、その重荷を神の前に置いて、再スタートを切つてみてはいかがでしょうか？

(カルバリー・チャペル牧師)